

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日(土)～14日(日)

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JRホテルクレメント高松

プレコングレスワークショップ 23	
企画名	複雑な症例の診断にチャレンジ ～プロブレムリストから診断に収束させる
日時	2017年5月12日(金) 18:20～19:50
会場	第6会場 (サンポートホール高松 ホール棟 7F 第3リハーサル室)
企画責任者	野口 善令 (名古屋第二赤十字病院総合内科)
定員	36名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】 複雑な症例の診断推論プロセスをグループワークを通して学ぶ</p> <p>【概要】 複雑な症例とは、症状、所見が多系統・多臓器にわたり <b>Problem list</b> が膨大になるような症例のことです。このような症例では直感的にスナップ診断することも、どれかひとつの <b>problem</b> に注目して診断を絞っていくことも難しく、特有のアプローチが必要になります。</p> <p>このワークショップでは、複雑な症例からプロブレムリストを抽出し、たくさんのプロブレムからどうやって診断に収束させていくかの思考プロセスをグループワークを通して体験します。</p> <p>対象は、複雑な症例の診断についての疑問・悩みを抱く、医学生、若手医師です。他人の知恵を借りながら自分も知恵を出しあって楽しく診断思考プロセスを学びましょう。</p> <p>当時は、グループワークと発表を交え以下の進行でワークショップを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 症例提示</li><li>2 プロブレムの抽出</li><li>3 プロブレムのグループ化</li><li>4 グループ化した <b>problem</b> から診断仮説を作る</li><li>5 まとめ</li></ol>	